

ROUND関数

使い方マスターガイド



※当ガイドに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。

【最重要】
「表示形式」と「ROUND」は違う！

【最重要】「表示形式」と「ROUND」は違う！

Excelで四捨五入する際、ツールバーの「小数点以下の表示桁数を減らす」ボタンを使っていますか？これは「見た目を変えているだけ」で、実際の数値は細かい小数のままです。

方法	見た目 (123.456)	実際の値	計算結果への影響
表示形式	123	123.456	計算がズレる原因 (合計が合わなくなる)
ROUND関数	123	123	ズレない (端数が消滅して確定する)

 **結論：**請求書や見積書など、「1円のズレも許されない」書類では必ず ROUND関数を使ってください。

【保存版】第2引数「桁数」早見表

【保存版】第2引数「桁数」早見表

ROUND関数で一番迷うのが、2つ目の数字（桁数）です。「プラスは小数点以下の桁数を残す」「マイナスは整数部分（ゼロの数）を丸める」と覚えましょう。

元の数値：1234.5678

したいこと	指定する桁数	数式	結果
小数第1位にする	1	=ROUND(A1, 1)	1234.6
整数にする	0	=ROUND(A1, 0)	1235
十の位にする	-1	=ROUND(A1, -1)	1230
百の位にする	-2	=ROUND(A1, -2)	1200
千の位にする	-3	=ROUND(A1, -3)	1000



ポイント：消費税計算などで「円単位（1円未満四捨五入）」にしたい場合は、第2引数の桁数に0を指定します。

【比較】 3兄弟の使い分け（UP / DOWN）

【比較】3兄弟の使い分け（UP / DOWN）

四捨五入だけでなく、「常に切り上げ」「常に切り捨て」が必要な場面も多いです。使い方はROUND関数と全く同じで、桁数を指定するだけです。関数名を変えるだけで実行できます。

関数名	処理内容	よくある利用シーン
ROUND	四捨五入	一般的な端数処理、統計データ
ROUNDUP	切り上げ	原価計算、個数計算（3.1個必要→4個買う）
ROUNDDOWN	切り捨て	消費税計算、年齢計算

数値「123.456」を整数（桁数 0）にする場合：

- `=ROUND(123.456, 0)` → **123**（4は切り捨て）
- `=ROUNDUP(123.456, 0)` → **124**（強制的に上げる）
- `=ROUNDDOWN(123.456, 0)` → **123**（端数をカット）

【実践】消費税の計算テクニック

【実践】消費税の計算テクニック

実務で最も頻出する「消費税」の計算例です。日本の商慣習では「切り捨て」が一般的ですが、契約や社内ルールにより異なります。

シナリオ： 本体価格（A1）に税率10%を掛け、1円未満を切り捨てたい。

数式： `=ROUNDDOWN(A1 * 0.1, 0)`

解説：

1. **計算式：** `A1 * 0.1` で消費税額を出す。（例：150.5円）
2. **桁数：** 0 を指定して、整数（1円単位）にする。
3. **関数：** `ROUNDDOWN` で端数（0.5円）を切り捨てる。→ 結果：150円

これで、請求書の合計金額が1円ズレるトラブルを防げます。

【免責】

※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。

※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。また当資料は、公開日時点の内容となっております。最新の情報、実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。